

HDD MUSICの基本操作

HDD MUSIC再生画面



曲を頭出しする

◀▶ を選ぶ

- ランダム再生(右記)時に ▶▶ を選んでも、再生中の曲しか頭出しできません。

早送り・早戻しする

◀▶ をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

選曲方法を選んで再生する(P.96)

再生中の曲のリストを表示する

再生中リスト を選ぶ

再生中の曲をお気に入りに登録する

お気に入りに登録 を選ぶ

- 最大99曲登録できます。
- 複数の曲を選んで「お気に入りに」を追加することもできます。(P.99)

HDD MUSIC設定画面を表示(P.98)

条件を選んで再生する (リピート/ランダム/スキャン)

1 設定 を選ぶ

2 再生する条件を選ぶ

- 条件は選曲方法によって異なります。
- 条件は1つしか選べません。

繰り返し再生(リピート)

- すべて: 全曲
- 1 曲: 再生中の曲
- アルバム: 再生中のアルバム内の全曲
- プレイリスト: 再生中のプレイリスト内の全曲

順不同に再生(ランダム)

- すべて: 全曲
- アルバム: 再生中のアルバム内の全曲
- プレイリスト: 再生中のプレイリスト内の全曲
- 選曲方法(P.96)がフィーリングリンク・カテゴリ再生の場合、ランダム再生できません。

曲を探す(スキャン)

- 各曲のサビ部分を再生します。(サビスキャン)
- 再生時間の設定→P.102
- サビ部分は曲調解析により決定されます。サビ以外の部分が再生される場合もあります。
- SDメモリーカードから読み込んだ音楽データは、曲の先頭から再生されます。

- アルバム: 再生中のアルバム内の全曲
- プレイリスト: 再生中のプレイリスト内の全曲

静止画と組み合わせて再生する 910 (スナップエフェクター)

本機に録音した曲のテンポや曲調に合わせて、保存されている静止画を再生します。

準備

- 静止画を保存してください。(P.121)

1 Snap Effector を選ぶ

- Snap Effector画面が表示されます。

2 再生 を選ぶ

- 終了するには、画面をタッチしてください。また、電源を切ったり、オーディオを切り換えると、スナップエフェクターは終了します。
- 再生中に表示される曲名やアーティスト名は、一部表示されない場合や「Snap Effector」と表示される場合があります。

表示させる静止画を設定する

1 Snap Effector画面(上記)から 画像を選ぶ を選ぶ

2 設定項目を選ぶ

- サンプル: 本機にあらかじめ保存されている静止画のみを順不同に表示
- ランダム: 保存した全ての静止画を順不同に表示
- 新しいフォルダ: 作成日の新しいフォルダから順に表示
- 指定フォルダ: スナップエフェクター設定(P.123)で指定したフォルダを、作成日の古い順に表示

録音データの曲調解析の状況を確認する (録音データ解析中のみ)

解析状況 を選ぶ

- 曲調解析が終了すると、本機で録音データを再生できます。
- 解析中の録音データがCD3枚分表示されているときは、CD録音することはできません。CD1枚分の空きができるまでお待ちください。

■曲調解析について

音楽CDから本機のHDDに曲を録音する際、その曲の最も盛り上がっているサビ部分から、テンポ、リズム、ビートなどの特徴を抽出し、曲の印象を自動的に解析します。(曲調解析)
曲調解析には、ミュージックソムリエ技術*を使用しています。

- SDメモリーカードから読み込んだ音楽データは曲調解析されません。
- お客様の主観とは異なった曲が選ばれる場合もあります。
- 解析結果は編集できません。

*ミュージックソムリエ技術とは、ワインを選ぶソムリエのように、そのときのフィーリングに合った曲を選ぶ音楽選曲インタフェース技術です。

